

## コーディネーターとしての事業に対する意見シート

■事業名：市民交流会

■コーディネーター氏名・所属：近藤順子 ふらっとホーム・クリエイターズ

■ふりかえり会議開催年月日：平成17年3月31日

### 1. 協働のプロセスについて意見

実行委員会を開催までに8回開いており、話し合いは十分なされている。

1～3回目目までは行政側が司会進行をしていたが、実行委員長以下4役が決まった時点で市民側に会議の主導権が移っている。また、会議の内容もテーマや形式を決めるところから実際の動きに移っていることから大まかな方向性は行政主導で、実際の交流会をどう運営するかは市民が主体と役割の分担がなされている。

### 2. 成果についての意見

協働でやることの成果として、30万という予算では行政だけではこのような規模のイベントができない。また市民もこの予算内で最大限自分達がやりたいことをしている。5回と回を重ねていることで、市民側にノウハウのデータ蓄積ができており、行政担当者が変わっても実行できる体制がある。

旧関町の方も参加して新しい仲間となり、今後の広がり期待できる。

成果物(報告書)について委託だから市に帰属するという固定観念が市民側にあったが、話し合いによって決定することができるということに気付いた。

### 3. 課題・改善の整理とまとめ

役所内の他部署の巻き込みがないということで、今後他部署へ発信をすることで、行政と市民の新しい関係を考える材料とすることができる。

コスト分担について市民側は資料の作成や連絡等を行政に頼ることが多かったということがでており、一方行政の方はバランスよくできたということで、役割分担についての考え方の違いが出ていた。最後の感想の中でも出たが、事前チェックリストやファクトシート、ワークシートの利用により、役割分担がより明確になる。

### 4. 事業全体についての意見・感想(自由に記入してください)

5回という実績の積み上げで、行政と市民との協働がうまくいっている事例であった。今後もこの事業を続けていくということであるが、この5回という節目で一度将来ビジョンを話し合う時期に来ていると思う。それは、前回までは終了後問題のテーマがすぐに見つかり、それに対して新しい動き(会)がでてきたが、今回は問題のテーマが見つからないという点にも現れているのでは。一つの選択肢として、「きらめき亀さん」が中間支援組織としての役割を担っていくことを期待したい。

## コーディネーターとしての事業に対する意見シート

■事業名：第5回市民交流会

■コーディネーター氏名・伊藤登代子 所属：あいむネット

■ふりかえり会議開催年月日：平成 17 年 3 月 31 日

### 1. 協働のプロセスについて意見

事業自体は行政主導で行われており委託事業の形を取っている。それは両者が話し合って決めたことではないが、お互いその形でベストだということで、今まで支障はなかった。

### 2. 成果についての意見

- ・行政と民との協働もスムーズに動いており、大きなトラブルも発生していない。
- ・事業は良いが、参加する人の年齢が高くと若い人たちを活動の中に入れていくことができないか。

### 3. 課題・改善の整理とまとめ

- ・活動は毎年いろいろな企画とともに進んでいるが、会合に出てくる人が決まってきつ、会としての人材の広がりほしい。

### 4. 事業全体についての意見・感想(自由に記入してください)

- ・初めて参加をしたので他の会議とは比べられないが、行政と民がお互いに仕事の分担も分かりあい、それぞれの特徴を活かしながら活動を行なっていると感じた。
- ・行政は「官」という固いイメージも薄く自然な形で民の中に入っており、民はできることは自分たちでなくてはという自立したいという気持ちを持っている。
- ・官と民が本当にうまく融合している理想的な会という印象をうけた。
- ・今後は、委託事業としてつづけていくことがベストなのか、一つの団体として独立を目指すかであるが、このような形態をもうしばらく続けても良いかとも思った。